

雪下ろし不要な克雪住宅で快適な暮らしを！
令和8年度版
補助金のご案内

安心とゆとり
の生活で！
克雪住宅で



融かす
(融雪式住宅)

熱で屋根の雪を融かす



耐える
(耐雪式住宅)

屋根の積雪に耐える



落とす
(落雪式住宅)

屋根の雪を落とす

下記の市町では、屋根雪下ろしが不要となる
「克雪住宅」の新築・リフォームの費用の一部
を補助しています。
申請手続きや整備の基準などのより詳しい内容は
建設地の市町へお問い合わせください！



市町名	区域	令和 8 年度 受付期間	タイプ別の補助限度額（円）						問い合わせ先	電話番号
			融雪		耐雪		落雪・高床落雪			
			要援護世帯 ※ 1	一般世帯	要援護世帯 ※ 1	一般世帯	要援護世帯 ※ 1	一般世帯		
長岡市	長岡地域、越路地域、 山古志地域、小国地域、 栃尾地域、川口地域	4/1～10/30	5 5 万	4 4 万	4 4 万	3 3 万	4 4 万	3 3 万	長岡市都市政策課	0258-39-2265
柏崎市	市内の一部 ※ 2	4/1～11/30							柏崎市 建築住宅課	0257-21-2291
上越市	大潟区、頸城区を除く 市内全域	4/1～11/30							上越市 建築住宅課	025-520-5786
小千谷市	市町内全域	4/1～11/30							小千谷市 建設課	0258-83-3514
湯沢町		4/7～10/30							湯沢町 建設課	025-784-4852
魚沼市	居住誘導区域 ※ 3	4/7～10/30	100万	100万	100万	100万	100万	100万	魚沼市 都市整備課	025-793-7991
	上記以外の区域		5 5 万	4 4 万	4 4 万	3 3 万	4 4 万	3 3 万		
十日町市	居住誘導区域 ※ 4	4/7～10/30	8 8 万	6 6 万	7 7 万	5 5 万	7 7 万	5 5 万	十日町市 都市計画課	025-757-9935
	上記以外の区域		6 6 万	4 4 万	5 5 万	3 3 万	5 5 万	3 3 万		
妙高市	居住誘導区域 ※ 5	5/11～12/11	7 5 万	6 4 万	6 4 万	5 3 万	6 4 万	5 3 万	妙高市 建設課	0255-74-0026
	上記以外の区域		5 5 万	4 4 万	4 4 万	3 3 万	4 4 万	3 3 万		
南魚沼市	居住誘導区域 ※ 6	4/1～11/30	7 7 万	6 6 万	6 6 万	5 5 万	6 6 万 ※ 7	5 5 万 ※ 7	南魚沼市 都市計画課	025-773-6662
	上記以外の区域 ※ 6		5 5 万	4 4 万	4 4 万	3 3 万	4 4 万 ※ 7	3 3 万 ※ 7		
阿賀町	町内全域	4/1～10/30	5 0 万						阿賀町 建設課	0254-92-5765
津南町	町内全域	4/21～10/30	5 5 万	4 4 万	5 5 万	4 4 万	4 4 万	3 3 万	津南町 建設課	025-765-3116

令和8年8月1日現在

※1 高齢者世帯、身体障がい者世帯、精神障がい者世帯、知的障がい者世帯、ひとり親世帯など各市町で認める世帯
※2 鶴川地区、高柳町地区、中鯖石地区、南鯖石地区、別俣地区、野田地区、北条地区、上米山地区、中通地区、上条地区、北鯖石地区、田尻地区、高田地区
※3 魚沼市立地適正化計画で定められた、生活サービス等が持続的に確保されるよう居住を誘導する区域
※4 具体的な区域については十日町市にお問い合わせ下さい ※5 具体的な区域については妙高市にお問い合わせ下さい
※6 地下水採取規制重点区域のみ事業所も補助対象 ※7 工事対象経費は既存住宅の克雪化改修費（新築・改築は対象としていません）

雪に強い住まい ～克雪住宅～

新潟県では、以前から落雪式や融雪式などの雪に強い“克雪住宅”が建てられてきました。最近では、様々な新技術の開発や新材料の発展とともに、より雪に強く快適なものが建てられています。克雪住宅にはいくつかの種類がありますが、それぞれの特徴を理解し、敷地の広さ、積雪量等の条件に合わせて適した方式を選ぶことが重要です。

融かす

耐える

落とす

	融雪式	耐雪式	落雪式(高床落雪式)
どんな住宅？	熱エネルギー(電気、ガス、灯油等)の利用により、屋根雪を融かすことのできる施設を有するもの。 ※融雪範囲、方法、熱源等、いくつかの種類があります。	構造を強くして積雪に耐えられるようにしたもの。 構造計算等により所定の積雪量に耐えうる強度の構造にした住宅。	屋根雪を人力によらず落下させる屋根構造を有し、敷地内で雪処理できるもの。 落雪により地上階の生活に支障をきたすため、基礎を高くする(高床式)ことが有効。
敷地面積の制約	○ 敷地に余裕のない場合に適する。	○ 敷地に余裕のない場合に適する。	× 落雪の貯雪スペースが必要なので、敷地に余裕がある場合に適する。
リフォームの可否	○ リフォーム	× リフォーム	△ リフォーム
建設費	小	大 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、大断面木造など構造耐力アップのための建設費用が増大する。	中(大) 高床式にする場合、基礎部分の建設費が増大する。
維持費	大 融雪装置のメンテ費用及び燃料費等のランニングコストがかかる。	小 ☆所定の量以上の積雪があった場合は雪下ろしが必要。	小 ☆雪が滑りやすいよう、屋根面の塗装の定期的な塗り替えなどが必要。
その他の特徴	☆密集市街地などで多くの雪が降る地域に有効。 ☆融雪水の凍結によるつらの危険性あり。	☆屋根雪の荷重に耐えられるよう、壁や柱の位置、間取りへの配慮が必要。	☆落雪による事故防止への配慮が必要。 ☆高床式にしない場合、落ちた雪の処理が必要。



克雪住宅ガイドブック



克雪住宅事例集



克雪住宅チェックシート

新潟県 克雪資料

検索

克雪住宅等に関する資料を無料で配布しています！

県は克雪住宅の概要などをまとめた資料を作成し、配布しています。また、下記のURLまたはQRから県ホームページにアクセスすると、PDFデータをダウンロードすることもできます。

克雪住宅を知りたい、つくりたい(新潟県ホームページ)

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jutaku/1264971691376.html>



補助事業の詳細はQRから確認することもできます。

【お問い合わせ先】

新潟県土木部都市局建築住宅課

TEL : 025-280-5442 FAX : 025-285-6840

メール : ngt160030@pref.niigata.lg.jp

